

<広報の学校>

実践型「入門メディアトレーニング」講座のご案内

後日の講評レポート付き

①会場聴講（推奨）、または②オンライン ZOOM 配信（アーカイブ視聴付き）

から選択できます

— 10月29日（水）13:00～17:30 —

広報の学校
（共同ピアール総合研究所）

メディアトレーニングは企業・組織を代表するスポークスパーソンに不可欠なメディア対応の知識とスキルを習得する必須の研修プログラムです。

欧米企業ではメディアの取材を受ける役員・社員はトレーニングを受けることが義務化されています。日本でも多くの企業で役員・部門長研修として導入されています。

平常時のポジティブなインタビュー・記者会見でのメディア対応の巧拙が企業ブランド構築に大きく寄与するのは勿論、緊急時の謝罪会見でのミス・失敗は企業の存続を左右する重大なダメージを与えるものになっています。

本プログラムはポジティブ・ネガティブ両シーンでのメディア対応（電話、インタビュー、記者会見、TV取材）に必要な専門知識とスキルを習得するものです。

テレビ番組でもコメンテーターとして出演し、多数のスポークスパーソンにメディアトレーニングを指導してきたエキスパート講師がメディアの視点に立って、ミスなく、分かりやすく、伝えたいキーメッセージを効果的に伝える手法を研修します。

本講座では、経営トップ・役員から日常的にメディア対応の実務を担う広報担当者までの幅広い層を対象に、メディアトレーニングの実務をコンパクトに学びます。

また、希望する方にはメディアトレーニング（模擬インタビュー）を体験していただくことが可能です。（先着6名）

メディア対応力強化の基礎教育、スキルアップの場としてご参加くださいますようお願い申し上げます。

※ 当総研では、受講効果を高める視点から「会場受講」を推奨しておりますが、会場受講が難しい方は配信での受講も可能です。「オンライン配信」でのご参加を選択された場合、当日の配信に加え、アーカイブ視聴期間中（1ヶ月）は何度でも繰り返し視聴ができます。

インタビューの様子が録画されることをご了承ください。模擬インタビュー録画不可の方は予め事務局までお伝えください。

<お問い合わせ先> メールでご連絡ください。担当が一両日中にはご返信をいたします。

「広報の学校」事務局 seminar@kyodo-pr.co.jp

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10F

「入門メディアトレーニング」講座 実施概要

- 対象者 経営トップ・役員から広報担当者まで
- 本講座の特色
 - 1、メディア対応の基礎知識とスキルの獲得
 - 2、取材（インタビュー）・記者会見のルールと基本原則の理解
 - 3、ポジティブ（平常時）、ネガティブ（緊急時）2つの局面の対応の差異と留意点
 - 4、メディア経験者との模擬取材を通してメディア対応のポイントを学ぶことができます。
※希望者には後日講評レポートを差し上げます。
- 講座概要 詳細はカリキュラムをご覧ください。
- 日時 2025年10月29日（水） 13:00～17:30
- 会場 共同ピーアール セミナールーム（東京都中央区銀座1-13-1 銀座松竹スクエア10階）
オンラインでご参加の場合は、講座の2日前までにZOOM URLをお知らせいたします。
- 講師 池田 健三郎（共同ピーアール総合研究所長）
磯貝 聡（共同ピーアール総合研究所 主任研究員）
水口 真人（共同ピーアール顧問／元日本経済新聞・元TBS経済部記者）
中村 建助（元日経BP 記者・編集者）
- 受講料 45,000円（資料代含む）消費税別

■申込方法： ウェブサイトページからお手続きください。

⇒ インターネット検索サイトで「共同ピーアール セミナー」と検索し、申込フォームにお進み下さい。その際、①会場聴講、または②オンライン配信のどちらかを選択し明記願います。

アドレス：<https://www.kyodo-pr.co.jp/seminar>

実務演習の模擬インタビュー体験をご希望の方は、申し込み備考欄に「模擬インタビュー取材希望」とお書き添えのうえ、予め題材としてもよいリリース1通をお送りください。（自社の不祥事系のリリースでも構いません）

※お申込み受付後に自動返信メールにてお申込確認情報が届きます。
※催行人数に満たない場合には、中止になることもございます。

■申込締切 10月22日（水） 17時必着

- 支払方法 請求書はPDFでお送りいたします。記載のお支払い期限（当月締め翌月末払い）までにお振り込みください。
※請求書の原本をご希望の場合は郵送いたしますので、その旨お知らせください。

〈振込先〉 みずほ銀行（0001） 八重洲口支店（026）
普通預金 口座番号：2677982
口座名： 共同^{キョウドウ}ピーアール株式会社 セミナー^{グチ}口

●参加方法は2つあります

- ① 「会場聴講」の方：講座開始10分前にセミナールームで受付をお済ませください。
- ② 「オンライン配信」の方：当日会場に来られずとも、遠隔で講座を聴講できます。

ZOOMに登録いただきご参加ください。

当日見逃した方は後日、アーカイブ視聴期間（1ヶ月）中であれば視聴可能です。

繰り返し受講されたい方もご活用ください。アーカイブ視聴期間は別途ご連絡いたします。

「入門メディアトレーニング」講座 カリキュラム

時 間	内 容	講 師
講座 13:00～14:20	座学講義 80 <ポジティブ（平常時）メディア対応> 目的と効果、メディア・記者の視点、メディア対応の3つの誤解、情報公開のルール、電話、インタビュー（取材）、記者会見、TV取材（出演）、会見対応ポイントと注意、準備、Q&A <ネガティブ（緊急時）メディア対応> 緊急時メディア対応に必要な知識の基礎的知識	池田 健三郎
14:20～14:30	休 憩	
実務演習 14:30～17:30	<メディアトレーニング体験！> 「御社（受講者の所属企業）に、リリース発表後にメディアから取材が入った」という設定で、希望者とメディアOBで1on1の模擬インタビューを行います。	メディアOB + 磯貝聡
25	1人目 インタビュー15分／講評5分／調整時間5分	
25	2人目 インタビュー15分／講評5分／調整時間5分	
5	休憩	
25	3人目 インタビュー15分／講評5分／調整時間5分	
25	4人目 インタビュー15分／講評5分／調整時間5分	
5	休憩	
25	5人目 インタビュー15分／講評5分／調整時間5分	
25	6人目 インタビュー15分／講評5分／調整時間5分	
20	総括・まとめ	

当日は、最大6人まで模擬インタビューを体験できます。

対象人数が少なかった場合は、メディアOBとディスカッション（普段の広報活動の相談会）とします。

実務演習「メディアトレーニング体験！」を受講希望の方へ

- ✓ 会場（対面）、オンラインどちらからでも申し込み可能ですが、**可能な限り会場**にお越しください。
- ✓ **メディアトレーニング体験希望者は先着6名まで**とさせていただきます。※聴講者はこの限りではありません。
- ✓ 希望される方は、申し込みのうえ、**模擬インタビューの題材としてもよいリリースを事前に事務局にお送りください**
 題材リリース例：新商品や新規事業のリリースなどで御社の特徴出ているもの。
 ※自社で過去に発生した不祥事系のリリースを題材として頂いても構いません。
- ✓ **もし題材とする適切なリリースが無くてインタビューを希望される場合は、**
「御社の社長取材に伴う広報への事前取材」という想定で実施する事も可能です。
- ✓ 模擬インタビューは記者役と希望される受講者との一対一で行います。
- ✓ 会議室の前方（もしくはオンライン画面上）で実施しますので、**他の受講者からもインタビューの様子が見ることが**
できる状態であることをご了承ください。
- ✓ 「御社（受講者の所属企業）に、リリース配信後にメディア（経済部系）から取材が入った」という設定です。
- ✓ インタビュー時間は1名につき15分程度。
- ✓ 終了後、メディアOBから気づいた点のフィードバックをさせていただきます。

<講師プロフィール>

●池田 健三郎 (いけだ けんざぶろう)

共同ピーアール総合研究所長

経済評論家・政策アナリスト、シンクタンク代表、ビジネス・コンサルタント、TV コメンテーターとして長年の実績を有する。JCI（国際青年会議所）セネターおよび公社日本青年会議所アドバイザーも務め、まちづくり、地方創生等に関する講演も多数行う。

金沢大学法学部卒、早稲田大学大学院政治学研究科（公共経営専攻）修了。

1992年日本銀行入行（総合職/調査統計局企画調査課）。その後、金融経済の第一線で研鑽を積み、1999年以降は民間シンクタンクにおいて活動。近年は幅広い人脈を生かし、公共政策や金融分野を中心とした評論・執筆・講演、プロデュース活動のほか、企業団体の顧問や社外役員として、ガバナンスおよびリスク管理強化に注力。戦略的経営のアドバイザー・サービス供与やベンチャー企業支援なども行う。とくに IPO 準備企業におけるリスク管理体制整備と PR/IR の一体的な高度化サポートでは、上場準備の各プロセスに潜む様々なリスクの把握と PR の視座からのプラス転化において高い評価を得ている。2019年8月、当総研シニアフェローに就任し、2020年1月より現職。

【主な著書】『金融政策プロセス論』（日本公法）、『「郵政」亡国論』（ワニブックス PLUS）、『「新しい資本主義」の教科書』（日東書院本社）

【兼務中の役職】

- （特非） 公共政策調査機構 理事長
- （一社） 日本空気と水の衛生推進機構 理事長
- （一財） 防災教育推進協会 評議員
- （特非） 日本郵便文化振興機構 代表理事
- （医社） 井上外科記念会（世田谷井上病院） 監事
- 早稲田大学エクステンションセンター講師

【実績】

関西学院大学大学院 経営戦略研究科 客員教授

拓殖大学 客員教授

（公社） 日本青年会議所 アドバイザー

PwC あらた監査法人 顧問

浜松大学 ビジネスデザイン学部 特任教授

●磯貝 聡

共同ピーアール株式会社 総合研究所 主任研究員

金融専門紙の記者を経て2007年共同ピーアール入社。PR パーソンとして物流、ゼネコン、食品、商社、大学などを担当。品質データ問題、食品異物混入、個人情報漏洩などの危機管理広報コンサルティングを実施。

メディアトレーニングでは、新任広報部員やスタートアップ企業のスポークスパーソン育成を実施。危機想定トレーニングでは、化学・製造業や運輸・鉄道企業をはじめとした各業界で危機発生時の情報収集、検討、対応、発表までの一連の流れを想定した対策本部トレーニングの企画・運営を担当。危機発生後の企業では、危機管理体制再構築のための広報対応分析、危機管理広報マニュアルの見直しと作成も実施している。

●水口 真人(みずぐち まさと) 元日経新聞・元 TBS 記者

1957年東京生まれ。東京都立日比谷高校、慶應義塾大学経済学部を経て、1982年日本経済新聞社に入社。流通経済部、金沢支局、経済部で経済記者活動。デパート、スーパー、総合商社、外食産業など流通業を中心とする民間企業のほか、日銀、民間銀行、生命保険、損害保険など金融業界、財務省、経済産業省、経済企画庁など主要経済官庁を担当。1991年東京放送（TBS）に入社。経済部記者として民間企業、官庁など経済全般を担当。現在、共同ピーアール株式会社 顧問。

●中村 建助(なかむら けんすけ) 元日経 BP 記者・編集者/KMC 代表兼編集主幹

1990年日経 BP 入社。日経デザイン編集記者、日経ビジネス副編集長のほか、日経エコロジー、日経コンピュータ、日経情報ストラテジー、ITpro などの編集長を歴任。経営、IT、DX の動向に詳しい。雑誌、オンラインメディア、書籍の執筆、取材、編集などに30年以上従事。書籍の編集・著書、講演多数。

※あくまでも優しい記者の想定ですのでご安心ください。

